

研究課題番号	SⅡ-8-2
研究課題名	排出削減策の実効性評価のための GHG 推定と地球システムモデル検証
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	海洋研究開発機構
研究代表者名	羽島 知洋

1. 委員の指摘及び提言概要

大気海洋間の物質移動に関するモデリング研究は長期の気候変動予測にとって重要であり、それに貢献する研究が行われている。CO₂、CH₄、N₂O の主要3種の GHGs 収支を同一システムで推定可能にしたことを評価する。逆推計による排出量の推計についても、国際比較等を良く行なっている点が評価できる。排出削減実効性評価の実施、すなわち、気候・炭素循環の時間遅れと気温の自然変動により、実観測で気温低下が検知されるのは 2040 年以降となる可能性を示唆するなど、新しい知見を提示していることを評価したい。これは SⅡ-8 全体の中でも重要な成果であり、成果の有効な発信の方法についても、プロジェクトリーダーとともに検討して頂きたい。

2. 採点結果

評価ランク：A